

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
1	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1790-01	教育委員会活動 運営事務	教育行政の円滑な運 営と教育委員としての 研鑽を図る	1,857	1,848	△ 9	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に定める職務について、同法 第26条及びむかわ町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任す る規則の規定に基づき、定例会を12回、臨時会を2回開催し、議案等194件を 審議した。また、町立学校4校を訪問し、各学校の特色ある教育活動の取り組みや 課題等について意見交換を実施した。 今後、過小規模校の統廃合計画に基づき保護者や地域住民の理解を得てよりよい 教育環境の提供に努めることや、今日的な教育課題の解決に向けて、教育委員とし て更に研修を深めていく必要がある。	B維持	
	総合支所									
2	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1810-01	就学指導事務	心身に障害があり、 教育上特別な取扱いを 要する児童生徒に対 し、適正な就学指導を 行うための就学指導委 員会の設置及び活動	140	132	△ 8	特別支援教育の充実及び本町の児童生徒の適正な就学に向けて、引き続き細かい 取り組みを続けていく必要がある。	B維持	
	総合支所									
3	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1830-01	教職員福利厚生 事務	職員の健康保持のため 学校保健の充実を図 る。	975	995	20	学校保健安全法第15条の定めにより教職員の定期健康診断、血液検査、人間 ドックを実施。 教育課程以外の活動（PTA活動、学級活動、部活など課外活動）における事故 等の補償をし、教職員の負担軽減に努めている。	B維持	
	総合支所									
4	本 庁 (生涯学習 課学校教育 学校教育グ ループ)	1840-01	高等学校振興対 策事業	鶴川高等学校並びに 穂別高等学校の存続対 策及び体育・文化活動 の振興	1,514	860	△ 654	鶴川高校生への部活動等への支援、入学希望条件が有意になり、高校存続問題に も有効なものとなっている。 今後も両高等学校の存続を図るため必要な事業である。 穂別高校の学校案内を札幌及びその近郊の中学校へ行い、生徒の確保を図ってい る。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1840-02								
5	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1850-01	魅力ある教育推 進事業	学ぶ意欲を高める魅 力ある学校づくりを推 進する	2,132	2,205	73	鶴川中学校と鶴川高等学校との連携型中高一貫教育は、生徒の興味関心などに 応じた多様な学習形態が定着し、6年間の見通しの中、特色ある教育活動が展開さ れている。今後も一層の振興と教育内容の充実に向けた支援が求められる。 スクールカウンセラーについては、道費負担となったが児童生徒をとりまく環境 等の変化から今後も引き続き継続する必要がある。 穂別中学校のT・Tについては、全体的に基礎基本の定着に効果をあげており、継 続が必要である 穂別地区事前交流事業は、中学校生活スタートに向け意欲を引き出したり、コ ミュニケーションの基盤等ができ、有効である。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1850-02								
6	本 庁		山村留学支援事 業	富内小学校への山村 留学生を迎え入れるた め、必要な支援を推 進する	0	320	320	富内小学校の存続、地域の活性化の両面から留学児童が来たことは、初年度から評 価される。 更に、学校（複式学級、特別支援）、地域（行事への参加）、教育委員会（住宅の 確保、募集方法）などの受け入れ体制の充実が必要である。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1855-02								

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
7	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1860-01	児童生徒保健対 策等事務	就学前児童、及び児 童生徒の健康保持のた め学校保健の充実を図 る。	1,174	1,193	19	学校保健安全法の定めにより、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健康診断を定期的実施するとともに、感染症の予防や感染症による学級閉鎖などに助言をいただくなど、学校教育の円滑な実施を図っている。また、就学前の児童の健康診断を行い、結果に基づき、必要に応じて保護者に治療を勧告するなど就学に備えていただいている。 学校境衛生検査は、学校環境衛生の基準に基づき換気、保湿、採光、照明、騒音等の学校環境の検査を行い、児童生徒等の健康増進を図っている。定期的実施していく必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1860-02								
8	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1880-01	教職員住宅等維 持管理事務	むかわ町立学校に勤 務する教職員の住宅の 維持管理	2,313	2,300	△ 13	児童生徒数の減少により教職員の定数も減少しており空き住宅が増えてきているため、可能なものについては普通財産に所管換えし、有効活用を図ることが望ましいと考える。 今後も適切な維持管理に努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1880-02								
9	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1900-01	教職員住宅建設 割賦償還金	教職員住宅の整備に 係る償還金及び負担金	25,938	18,020	△ 7,918	教職員を確保し、またその能力を発揮する上で住環境の整備は必要なことから、計画的な教職員住宅の整備を進める必要がある。 (償還金返済による減)	B維持	
	総合支所									
10	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1910-01	教育団体活動等 事業助成事業	就学前教育の奨励、 教育活動を補完する団 体への活動を支援し、 教職員の資質の向上と 教育環境整備を図る	7,765	9,988	2,223	町内唯一の幼稚園は、入園する園児数が減少し、経営健全化に向けた取り組みが求められている。幼児教育の一翼を担っている私立幼稚園の運営に対して支援は必要である。 学校教育では、教員の指導力や人間性が子どもに与える影響は極めて大きいことから、引き続き町教育振興会などへの支援を行い、研修意欲と実践的力量的の向上を図る必要がある。	C見直	H23より認定子ど も園へ
	総合支所 (教育振興 課)	1910-02								
11	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1920-01	英語指導助手配 置事業	小・中学校における 英語活動並びに国際理 解教育の充実を図るた め、小・中学校へ外国 人英語指導助手を派遣 する。	8,774	11,021	2,247	国際化の一層の進展が予想され、英語によるコミュニケーション能力や国際理解の基礎を児童生徒に身に付けさせることは重要な課題であり、小学校における英語を中心とした外国語活動が22年度から始まり、本事業はますます必要である。 今年度の7月から鶴川地区と穂別地区の実施方法を統一し、自治体国際化協会から招致される英語指導助手（JETプログラム）を各地区に1名配置している。	B維持	
	総合支所 (01に統 合)	1920-02								
12	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1930-01	通学バス運行事 業	町内統合校などの児 童生徒の通学負担を軽 減するため通学バスを 運行するとともに、学 校行事等を円滑に行う ため多目的バスを運行 する。	25,986	29,882	3,896	学校の統廃合により、または従来から遠隔地からの通学者が多いため、通学バスは必要であるが、児童生徒数の推移により路線等の見直しは随時必要である。 校外学習等に要する貸し切りバスや多目的バスの運行は教育課程の一環であることから、実施に当たっての工夫は必要であるものの今後とも不可欠の事業である。 (生田小学校統合によるバス運行の増)	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1930-02								

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
13	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1950-01	小学校運営事務	小学校運営全般に係 る諸経費、教育環境の 整備	40,586	40,468	△ 118	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。 特別支援教育を必要とする児童が増えつつあり、特別支援教育の充実のため、学習支援員や介助員の配置を行い、教育内容の充実にも努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1950-02								
14	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1960-01	小学校施設管理 事務	学校施設、設備の維持 管理を行い、教育環 境の維持及び義務教育 の円滑な運営と児童の 安全性の確保を図る。	14,733	8,628	△ 6,105	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、より効率的・効果的な改善が必要である。 学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1960-02								
15	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1970-01	小学校施設整備 事業	学校施設、設備の整備 を行い、教育環境の 改善及び義務教育の円 滑な運営と児童の安全 性の確保を図る。	3,111	2,766	△ 345	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機、印刷機はリース契約期間が満了となっても、できるだけ使用し、経費の節減を図っている。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	1970-02								
16	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1980-01	小学校保健・安 全対策事務	児童の安全確保と、 健康の保持増進を図 り、学校教育の円滑な 実施を図る。	3,145	2,620	△ 525	児童の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、新入学児童の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
	総合支所 (01に統合)	1980-02								
17	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1990-01	小学校就学援助 事業	経済的理由によって 就学困難な児童の保護 者及び特別支援学級に 就学する児童の保護者 に対して学用品等を援 助することにより、義 務教育の円滑な実施を 図る。	1,160	1,228	68	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
	総合支所									
18	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2000-01	小学校教材備 品等整備事業	小学校教材備品等を 整備し、義務教育の円 滑な実施を図る	4,093	7,910	3,817	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり重点整備に努めた。 今後も、各学校が必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2000-02								

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
19	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2010-01	小学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進展に対応する人材を育成するため、児童に対する情報教育の充実を図るとともに、教職員用コンピュータを整備することにより学校事務の効率化を図る。	6,374	4,602	△ 1,772	児童に対する情報教育の充実並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していく必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2010-02								
20	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2015-01	小学校建設事業	事業実績無し	147,315	0	△ 147,315			耐震性のない小学校の改築にむけ整備計画に基づき準備を進める
	総合支所									
21	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2020-01	中学校運営事務	中学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	20,628	21,278	650	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2020-02								
22	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2030-01	中学校施設管理 事務	学校施設、設備の維持管理を行い、教育環境の維持及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る。	7,791	9,906	2,115	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、より効率的・効果的な改善が必要である。 学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2030-02								
23	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2040-01	中学校施設整備 事業	学校施設、設備の整備を行い、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る。	1,725	1,506	△ 219	学校施設、設備は緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機・印刷機は、リース契約期間が満了となっても、できるだけ継続して使用し、経費の節減を図っている。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2040-02								
24	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2060-01	中学校保健・安 全対策事務	生徒の安全確保と、健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。	1,609	1,693	84	生徒の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、女子生徒の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
	総合支所									

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
25	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2070-01	中学校教材備品 等整備事業	中学校教材備品等 を整備し、義務教育の円 滑な実施を図る	4,459	7,949	3,490	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり、重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2070-02								
26	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2080-01	中学校就学援助 事業	経済的理由によって 就学困難な生徒の保護 者、特別支援学級に就 学する生徒の保護者に 対して学用品等を援助 することにより、義務 教育の円滑な実施を図 る。	2,058	1,977	△ 81	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
	総合支所									
27	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2090-01	中学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進 展に対応する人材を育 成するため、生徒に対 する情報教育の充実を 図るとともに、教職員 用コンピュータを整備 することにより学校事 務の効率化を図る。	6,452	6,128	△ 324	生徒に対する情報教育の充実、並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要である。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2090-02								
28	本 庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2115-01	中学校建設事業	学校施設・設備整備 等により、教育環境の 改善及び義務教育の円 滑な運営と生徒の安全 性の確保を図る。	627,438	77,751	△ 549,687	学校教育において校舎をはじめ施設整備の果たす役割は、教育効果を左右する重要な要件となっている。 老朽化が著しい鶴川中学校は、平成20年度にⅠ期工事、21年度にⅡ期工事を実施し校舎改築を行い、外構工事として駐車場及びテニスコートの整備を行った。	E終了	
	総合支所 (教育振興 課)	2115-02								
29	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2120-01	社会教育委員活 動運営事務	教育委員会が行う社 会教育計画の立案や社 会教育事業に関し助言 するための社会教育委 員の活動経費	466	318	△ 148	合併における「一体感づくり」を役割とした『むかわ町社会教育研究大会』を、隔年開催。(次期H23) 社会教育委員について、自主的な活動がされるように資料の提供や誘導が必要と思われる。	B維持	
	総合支所									
30	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2130-01	社会教育推進事 務	社会教育行政を推進 するための一般事務経 費	709	826	117	社会教育事業等を推進するため、各種研修機会への参加や事業打ち合わせ・情報交換は有効である。	B維持	
	総合支所	統合								

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
31	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2140-01	社会教育団体等 活動費助成事業	社会教育関係団体に 財政支援を行い、活発 な活動を促す	3,609	3,095	△ 514	社会教育団体の自主的活動を支援することで、文化・レクリエーションが有意に 展開されている。各団体が統合してから、順調な運営をするために支援は必要である。 「行政改革の削減目標（H18～H22年度）」において現行補助額から30%削減が 示されており、今年度までに各団体のご理解を得て達成することができたが、今後 の各種活動に創意が必要である。	B維持	
	総合支所									
32	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2150-01	生涯学習基金活 用事業	文化、スポーツ及び 社会活動など生涯学習 意欲に応える費用に充 てるために設置された 「むかわ町生涯学習推 進基金」の有効な活用 を図る	3,267	3,182	△ 85	派遣事業としてかかる経費（交通費、宿泊料等）を助成することで、参加（出 場）者への支援が有効である。 また、公益性のある事業が展開され、まちづくりの推進に顕著な効果が期待され る。	B維持	
	総合支所									
33	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2170-01	公民館活動一般 事務	生涯学習推進アドバ イザーを置き、生涯学 習の推進を図る いじめ等の相談活動 により児童生徒の健全 育成を図る	4,285	4,764	479	教育一般に関し、豊かな識見を有し、且つ、生涯学習に関する指導技術を必要と する事務事業であり、生涯学習アドバイザーの配置を行っている。 特に子どもに関する事業…わんぱく、放課後子ども教室、学校地域支援など、企 画進行（コーディネート）する役割をもつ。	B維持	
	総合支所									
34	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2180-01	公民館事業	各年代別や課題に即 した生涯学習の機会の 提供を行うとともに、 学習成果の還元を推進 する。また、子どもた ちの体験活動等を行い 健全な育成を図る	1,923	1,808	△ 115	公民館事業について、事業の実施毎に評価（①前回の実施に対する課題の整理 ②住民のニーズ点検 ③今後の動向を踏まえての必要性）を実施している。これら を分析して、事業の優先度を位置づけし、今後の方向を検討している。 事業の数が多く、事業の組合せなど工夫も必要と思われる。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	※ 本庁0								
35	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2200-01	図書館等管理運 営事務	町民の教育と文化の 向上を図るため設置さ れている図書館（図書 室）の管理運営	4,794	4,875	81	図書館は、町民への情報提供手段として重要な役割を果たしてきている。今後さら なる町民の学習要求に応えるため、蔵書の拡大と移動図書館の整備などが必要であ る。合併によりサービス対象人口が拡大したこともあり、図書館の情報提供機能を 強化し、町民の学習活動への支援と、地域の活性化に向けたサービスの展開が求め られる。	A拡大	図書館ネット ワーク化
	総合支所 (穂別図書 館)	2200-02								
36	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2210-01	生涯学習セン ター管理運営事 務	町民の学習機会の充 実と文化及びスポーツ 活動の場所の提供並び に町外の住民との交流 の場として設置されて いる生涯学習センター (報徳館)の管理運営	1,585	1,790	205	文化・スポーツ関係の合宿施設として利用されている。平時は無人であるが、使 用時には管理人の常駐・清掃を委託している。	B維持	
	総合支所									

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
37	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2220-01	文化財保護事業	町の重要な文化財の 保存及び活用のため必要 な措置を講じ、町民 文化の向上を図るため の経費	360	272	△ 88	適正な文化財保護・保存に努めている。今後は、文化財と一般町民とのふれあいの機会・場の創出が課題。	A拡大	
	総合支所									
38	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2230-01	婦人研修セン ター管理運営事 務	女性の学習機会の拡 充と生活文化の向上を 目的として広く地域住 民の文化活動の促進に 寄与するため設置した 婦人研修センターの維 持管理	1,311	1,021	△ 290	女性の学習機会の拡充や生活文化の向上に寄与することができた。施設が老朽化していることから、建物維持調査と改修計画の検討をしていたが、バリアフリー型部分改修を経て、より多くの方に利用頂ける施設とした。	B維持	
	総合支所									
39	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2240-01	青少年健全育成 等推進事業	家庭・学校・地域社 会や関係機関との連携 強化に努めながら青少 年の健全育成を図るた めの経費	653	658	5	青年団活動については、公民館事業「ゆめ育事業」の自主的な活動をするほか、会員相互の交流や地域での活動を行っており、「まちづくり」を担う次代の育成の面での期待が大きい。 成人式の開催日については、対象者が参加しやすい日取り（現況通り）、成人の日に併せる（合同開催または各地区開催）など検討。 少年の主張大会については、主催（教育委員会）実施主体（運営委員会）と役割分担する中で実施している。	C見直	
	総合支所									
40	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2250-01	鷺川高等学校生 徒寮管理運営事 業	鷺川高等学校に在籍 する生徒及びスポーツ 等で合宿する青少年等 に寄宿の便を与え、 もって学力の向上、健 康の保持増進及び青少 年の健全な育成に寄与 するために設置した生 徒寮の管理運営	12,800	12,320	△ 480	寮生は野球部に所属しており、鷺川高等学校の存続及び硬式野球部の活動に大きく寄与しており、事業の継続が必要である。	B維持	
	総合支所									
41	本 庁	2260-02	穂星寮管理運営 事務	就学のために来町す る青少年に寄宿の便を 与え、もって学力の向 上、健康の増進及び子 弟の育成に寄与するた め設置された穂星寮 の管理運営	25,030	27,817	2,787	寮生は、親元から離れ環境を変え現管理体制の中で有意義な寮生活を送っており、穂星寮の存続にも寄与している。今後もこの事業の継続が必要である。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)									
42	本 庁 (生涯学習 課 社会教 育グルー	970-01	児童館管理運営 事務	放課後児童に適切な 遊び、及び生活の場を 与え、健全な育成をは かる。	17,019	27,047	10,028	核家族化、共稼ぎ世帯の増加により、放課後児童の健全育成についてニーズは高まる一方である。 また、特別支援学級児童数も増加しており、保護者としてはできるだけ多くの児童の中で成長させたいという意向が強まってきている。 鷺川地区は施設が老朽化しており、穂星地区は狭陰化しており今後適正な規模で事業運営ができるよう環境整備が必要となってくる。	B維持	H22児童館の移設
	総合支所 (教育振興 課)	970-02								

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
43	本 庁		博物館管理運営 事務	自然及び人文に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、町民の教養、文化の向上に寄与する。	12,696	13,007	311	資料の収集や管理は、今年度も例年通りに実施できた。これらの活動は博物館活動の根幹となっている活動のため、今後も着実に進めていきたい。調査・研究活動については、昨年に続いて外部研究者の来館があった。具体的な研究につながっている事例もあるため、今後も積極的に対応していきたい。特別展は3回実施、その後にミニ展示を開催した。教育普及事業として、普及講演会、化石採集会、体験コーナーを実施した。効果的な時期や方法を検討しながら、今後も実施していきたい。 今年も町内の学校による利用が一定数あった。穂別地域の特色である化石についての理解を深めてもらうという点からも、今後も積極的に対応していきたい。 広報活動については、これまで町の広報紙とともに全戸配布されていた博物館広報誌が配布できなくなったため、ホームページへ掲載することとした。今後は町内向けの広報について、より効果的な方法を模索していく必要がある。	B維持	
	総合支所 (穂別博物館)	2270-02								
44	本 庁 (生涯学習課社会教育グループ)	2290-01	体育指導委員活動運営事務	○スポーツ・レクリエーションの普及及び振興	1,277	1,202	△ 75	子どもの体力向上や高齢化における、健康社会の実現に向けて、「体育指導員」の役割は、一層重要になる。 総合型地域スポーツクラブへの継続支援と地域の拡大（育成）、生涯スポーツのメニュー作成、関係機関・団体等との連携など多岐にわたり任務と力量が必要とされる。そのため積極的に研修会等に参加し指導者としての豊富な知識を得ることが重要と考える。	B維持	
	総合支所									
45	本 庁 (生涯学習課社会教育グループ)	2300-01	町民体力づくり事業	町民の健康や体力の増進を基本としたスポーツの普及啓発などスポーツの振興を図る	195	189	△ 6	各種事業の実施により、町民がスポーツに親しむ機会を提供し、体力の向上に効果をあげている。 また、小学校のスピードスケート教室については、正しい知識と技術を教示することから、講師の派遣は必要であり、例年要望も多いことから継続している。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	※本庁01								
46	本 庁 (生涯学習課社会教育グループ)	2310-01	スポーツ団体等活動費助成事業	スポーツ団体等の支援をすることにより、町民の交流と連帯を養い且つ、スポーツへの参加意欲を高め、心身の健全な発展と明るく豊かな地域づくりに資する	4,031	2,372	△ 1,659	社会体育関係団体に補助金等を交付することにより、団体の財政面を支援し、町民主体によるスポーツ活動の奨励を行った。各団体において更に多くの事業を展開してもらうように助言や支援を行う必要がある。 「スポーツ振興事業」「ヒール大会」等は町が委託（支援）する事業として、主体的に（自立）実施するまでにはやや暫く支援が必要と思われる。	B維持	
	総合支所									
47	本 庁 (生涯学習課社会教育グループ)	2320-01	学校開放事業	コミュニティ・スポーツの推進を図るため、小中学校の屋内運動場やグラウンドを開放し、その管理運営を行う	604	144	△ 460	学校の授業に支障のない範囲で、学校体育施設を有効に活用し、本町のスポーツ振興に効果をあげている。 H21年度後半より自主管理方式に移行し、管理経費の縮減と施設に対する利用者の自覚を高めることができた。	B維持	
	総合支所									

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
48	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2360-01	鶴川体育館管理 運営事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持、増 進を図り、広く生活文 化の向上に寄与するた めに設置されている鶴 川町民体育館の管理運 営	8,273	9,057	784	町民体育館利用調整会議（夏季・冬期）を開催し、使用者団体の調整を行い、公平・効率的な利用に努めている。（補完施設として、中央小学校、宮戸小学校、鶴川中学校及び報徳館の屋内運動場を指定） 施設の設置（昭和48年）…老朽化と使用頻度も高く、施設の耐久力も極まり、改修の検討も必要となる。	B維持	
	総合支所									
49	本 庁	2370-02	穂別スポーツセ ンター管理運営 事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持、増 進を図り、広く生活文 化の向上に寄与するた めに設置されている穂 別スポーツセンターの 管理運営	13,234	15,028	1,794	穂別地区の体育振興の中心施設として、各種スポーツ大会も多数利用されており、地域住民の交流の場ともなっている。必要に応じて、穂別地区体育施設利用調整会議を開催し、使用者団体の調整を行っている。施設の設置（昭和54年）から築30年を経過していることから、長寿命化を図るため、施設の点検を行い改修の検討を行う必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)									
50	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2380-01	田浦野球場管理 運営事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持増 進を図り、スポーツ文 化の向上に寄与するた めに設置されている田 浦野球場・田浦第2野 球場の管理運営	4,083	7,299	3,216	鶴川高校野球部をはじめ町内外の野球愛好団体等に広く活用されている。 今後も施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。	B維持	
	総合支所									
51	本 庁	2390-02	穂別野球場管理 運営事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持増 進を図り、スポーツ文 化の向上に寄与するた めに設置されている穂 別野球場の管理運営	220	144	△ 76	穂別地区の野球チームが少なく利用者が減少傾向だが、野球少年団、中学校野球部、社会人チーム等に利用され、穂別地区に正規の規模のグラウンドが一方所であることから最低限ながらも維持運営を図る必要がある。22年度は胆振東部少年野球大会（2回）、女子社会人野球チームの利用で利用者が増となった。冬季は歩くスキーコースの練習場としても有効的に利用されている。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)									
52	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2400-01	ゲートボール場 管理運営事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持増 進及び軽スポーツ交流 を通して町民のふれあ いの場として設置され ているゲートボール場 の管理運営	4,028	4,061	33	ゲートボール愛好団や高齢者大学などのほか小中学生にも有効に活用されている。 今後も、適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
	総合支所									
53	本 庁 (生涯学習 課社会教育 グループ)	2410-01	鶴川スケートセ ンター管理運営 事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持及 び体育・スポーツ活動 の普及・振興を図るた めに設置された鶴川ス ケートセンターの管理 運営	5,235	5,354	119	冬のスポーツ施設として少年団活動や学校体育授業等に有効に活用されるとともに、夏季には、インラインスケートの使用を可能とした施設であり、日本代表として国際大会に出場する選手などの強化練習施設としても活用されている。	B維持	
	総合支所									

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
54	本 庁	2420-02	総別スケートリンク管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持及び体育・スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された総別スケートリンクの管理運営	2,006	1,987	△ 19	小学校体育授業が今年度1校のみとなり少年団活動も休止状況のため利用者が減少。冬の子どもたちの運動の場、放課後・休日の遊び場として利用されている。22年度もスケート協会が主催でスケート教室・町民スケートまつりを開催し水上レクリエーションなど取り組んでいる。鶴川地区へのスケートリンクには冬季の移動時間及び交通安全上の課題もあるが、開設については、今後において検討する必要があると考える。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)									
55	本 庁 (生涯学習課社会教育グループ)	2430-01	鶴川地区パークゴルフ場管理運営事務	町民及び来町者の心身の健全な発達及び体育、スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された鶴川運動公園パークゴルフ場及びししやもパークゴルフ場の管理運営	5,702	5,989	287	中高齢者のスポーツとして定着し、利用率も高い。芝生の管理等適切に行いながら利用者の要望に対応する必要がある。	B維持	
	総合支所									
56	本 庁	2440-02	総別地区パークゴルフ場管理運営事務	町民及び来町者の心身の健全な発達及び体育、スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された総別地区パークゴルフ場の管理運営	6,345	6,105	△ 240	高齢者の健康維持と会社や自治会等団体の親睦交流スポーツに多く利用されている。最近では、若年層・町外者の利用が少なく利用者減少傾向にある。22年度は夏季の猛暑により芝生の一部に影響が出て、利用者の苦情もあったことから、業務委託内容（管理体制など）の改善を図る必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)									
57	本 庁	2450-02	スキー場管理運営事務	町民の冬季スポーツの振興及び保健体育の普及向上を図るために設置されている総別スキー場の管理運営	1,300	1,246	△ 54	小学生では少年団活動が多く利用し、中・高生ではスノーボードが利用されている。成人層は減少傾向。天候などにより利用の増減はあるが、現状維持で開設を図りたい。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)									
58	本 庁	2460-02	水泳プール管理運営事務	町民の健康増進と体位の向上を図るために設置された総別水泳プールの管理運営	3,238	3,369	131	総別地区の唯一の水泳施設であり、主に小中学校体育授業、放課後児童の遊び場等により利用されている。プール浴槽及び鉄骨塗装の改修を行った。改修により開設日が遅くなったが、22年度の連日の猛暑で昨年より利用者が増。今後も必要最小限の管理運営を図る。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)									
59	本 庁 (生涯学習課社会教育グループ)	2470-01	むかわたんぼぼ公園テニスコート管理運営事務	町民の心身の健全な発達と体育・スポーツ活動の普及、振興を図るために設置されている鶴川たんぼぼ公園テニスコートの管理運営	300	149	△ 151	鶴川中学校改築に伴い、同校敷地内へ移設を行った。テニス団体や愛好者において有効に活用されている。今後も適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
	総合支所									

平成22年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
60	本 庁 総合支所 (教育振興 課)	2480-02	総別テニスコ ート管理運営事務	町民の心身の健全な 発達と体育・スポーツ 活動の普及、振興を図 るために設置されてい る総別テニスコートの 管理運営	641	608	△ 33	テニス愛好者の減少により利用者が少ない。小規模の修繕を行いながら継続運 営。22年度も大人の雪合戦チーム、少年団チームが町外大会に向けた練習と体協 主催の町民雪合戦大会の会場としても利用され、冬季の有効的活用が図られてい る。	B維持	